

# 杉戸町立図書館サービス計画

## 事業評価シート

令和4年度版

## 1. 趣旨

この事業評価シートは、「図書館法」（昭和25年法律第118号）第7条の3、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年文部科学省告示第172号）に基づき、杉戸町立図書館の運営状況について評価・分析を行いサービス向上に資するものである。

## 2. 評価内容

「杉戸町立図書館サービス計画」の「5. 指標の取組と成果」の達成度に基づき評価を行った。

## 3. ABC評価の評価基準

評価	基準
A	計画どおり事業を実施し、目標水準を満たしている。
B	計画どおり事業を実施したが、一部に課題がある。
C	計画した事業、目標水準を満たしておらず、改善が必要である。

### ■基礎数値

			基準値	R4	R8
図書館	人口一人当たり	来館者数(H30)	4.30人	3.07人	4.89人
		利用者人数(H30)	1.61人	1.37人	1.82人
		貸出冊数(H30)	5.43冊	4.74冊	6.14冊
	利用者アンケート ※	資料に対する満足度	55%	58%	70%
		総合的な満足度	70%	73%	80%
公民館 図書室	人口一人当たり	利用者人数(H30)	0.15人	0.12人	0.17人
		貸出冊数(H30)	0.40冊	0.25冊	0.45冊
	利用者アンケート ※	資料に対する満足度	24%	16%	60%
		総合的な満足度	51%	42%	60%
全体	人口一人当たり	貸出冊数(H30)	5.8冊	4.95冊	6.6冊

※：年度内に実施する利用者アンケート結果の「満足」・「やや満足」の合計となります。

基本方針 1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策 ①	資料の収集と保存
取組内容	<p>利用者にとって活用しやすい蔵書構成とするため、資料収集方針に基づき選書を、除籍基準に基づき除籍を進め、新鮮かつ、多種多様な蔵書構成を図ります。</p> <p>利用者アンケートで幅広い年代のニーズが多かったコミックについても一定の基準を設け、収集を検討します。</p>

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
利用者への資料提供のため図書・視聴覚資料等の受入・配架を行います。	図書5,333冊・視聴覚資料等25点の受入・配架を行いました。
選書については、定期的な選書ミーティングを開催し、幅広い資料収集に努めます。	月1回の選書ミーティングを開催し、資料の充実に努めました。
読者のニーズに応えるため、利用者アンケートを実施します。	令和4年12月1日～12月28日の期間に図書館、すぎめーにてアンケートを実施しました。
10月からの一般貸出を目標に、漫画書架の作成と資料購入を行います。	コミック棚を作成し、コミック250冊の購入と貸し出しを開始しました。

### 2 該当する数値指標

			基準値	R4	R8
人口一人当たり	図書購入費(円)	目標	202.8	225.3	225.3
		実数		203.8	—
	蔵書冊数	目標	4.75	4.87	5.38
		実数		4.49	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	目標はおおむね達成できたが図書購入費、蔵書冊数については、数値指標を達成できなかったため。	引き続き図書資料費を増額要求する。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	各々の取り組みについて、課題解決に向け、今後も継続されたい。

基本方針 1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策 ②	図書館利用の促進
取組内容	図書館が暮らしや学びの手助けとなるように、図書館活用方法の講座などの開催、また、レファレンスサービスの充実を図るなど資料貸出以外の図書館サービスの周知と利用促進に努めます。

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
電子書籍の活用についての講座を開催し、電子図書利用を促進します(8～9月電子書籍利用講座開催予定)	開始時点での利用状況等を鑑みて、実施の見送りを決定しました。
児童向け図書館事業において、図書館利用案内を行います(新一年生図書カード&図書館バックプレゼント図書館イベント、図書館お泊り会等)	新一年生図書カード&図書館バックプレゼント図書館イベント、図書館お泊り会等において、図書館クイズや案内等を行いました。
委託業者と連携、調整しながら時節と時事に合わせた特集展示や館内装飾に努めます。	毎月2回の特集展示と年6回の特別企画を行いました。館内装飾については、毎月季節に合った装飾を行いました。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
図書館	受入冊数	目標	5,790	6,391
		実数	5,333	—
	リクエスト処理件数	目標	13,359	14,746
		実数	16,394	—
公民館 図書室	受入冊数	目標	1,190	1,190
		実数	1,122	—
	リクエスト処理件数	目標	3,819	4,216
		実数	2,298	—
図書利用新規登録者数		目標	895	988
		実数	914	—
図書館利用促進事業実地回数		目標	2	2
		実数	2	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	目標についてはおおむね達成できたが、数値指標について、受入冊数、公民館リクエスト処理件数は達成できなかったため。	受入冊数を増やすために予算要求をするとともに、公民館図書室のリクエスト件数増のためのポスター等掲示を検討する。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	各々の取り組みについて、課題解決に向け、今後も継続されたい。

基本方針 1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策 ③	地域・行政資料の充実
取組内容	【総合振興計画 未来像 3】の「生涯を通じて学び、郷土に愛着を持てるまち」を実現するために、地域に関する図書・逐次刊行物・パンフレットなど多様な形態の資料・情報を適時的、網羅的に収集します。

### 1 令和4年度の具体的な実施報告

目標	結果
継続した行政・地域資料の受入・保管のため、年2回(5月と2月)行政各課・関係団体に依頼と確認を行います。	5月に行政各課・関係団体に依頼を行いました。
閉架・開架にある地域資料の見直しを行い、重複した資料についての整理を行います。	重複した資料についての整理は完了しました。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
地域資料受入れ冊数	目標	104	109	133
	実数		107	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	目標について、地域資料のポスター・チラシ類の装備、収集を十分に行えなかったことから、数値指標が達成できなかったため。	6～8月にかけて分類の確認と装備変更を完了する。 9月蔵書点検時に開架配置の変更と整理を行う。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	各々の取り組みについて、課題解決に向け、今後も継続されたい。

基本方針 1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策 ④	図書館サービス網の充実
取組内容	図書館本館へ来館が困難な利用者にとっては、最寄りの公民館図書室の充実が重要です。そのためにも館ごとの地域性やニーズを考慮して、蔵書の更新や、展示手法を工夫し、また、インターネットを活用することで身近な公民館図書室になる点などをPRし、利用しやすい公民館図書室づくりに努めます。

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
各公民館図書室の資料新規購入と整理を行います。	南公民館の図書資料の見直しと整理、館内装飾を行いました。 南公民館図書資料:954冊受入(一般書455冊 児童書499冊)
各公民館図書室の配架と装飾装備、備品の見直しを行い、親しみやすい雰囲気づくりに努めます。	南公民館図書室の配架や装飾、備品の見直しを行いました。

### 2 該当する数値指標

該当なし

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
A	目標について、おおむね達成した。	東公民館図書室の資料見直しと整理を行う。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
A	各々の取り組みについて、今後も継続されたい。

基本方針1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策⑤	広報活動の充実
取組内容	図書館の場所を知らない、または利用したことがない町民も多く存在することから、発信する内容は定例的な周知の情報だけではなく、町民にとって有益で図書館サービスへの理解が深まる事柄についても提供します。

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
図書館だよりの配布場所の見直しとして、公共施設だけではなく町内民間店舗への配布を検討します。	民間業者と交渉しましたが、不調となりました。
図書館案内等の配布資料の内容の見直しと修正を行います。	図書館案内のリニューアルを行いました。
広報すぎとの図書館特設ページを利用し、図書館サービス等の掲載を行い、住民に対しての周知を図ります。	広報すぎと10月号から図書館特設ページ「みんなでつくる愛される図書館」を連載し、周知に努めました。
図書館事業について、様々な媒体を利用し周知に努めます。	広報すぎと、杉戸町ホームページ、すぎめー、図書館だよりの館内チラシ、ポスター等を利用して、図書館イベント等情報発信を行いました。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
情報発信回数	目標	502	502	502
	実数		516	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	数値指標は達成できたが、目標について結果が不調となったものがあつたため。	引き続き、他の町内民間店舗へ配布、設置の交渉を行う。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	雑誌スポンサー等の民間業者から配布等につなげることも検討してみてもどうか。図書館ホームページについて、わかりやすく使いやすいものを作成してもらいたい。ツイッターやインスタグラム、YouTube等公的なもの以外の活用をIT課に要望してほしい。

基本方針 1	役立つ情報を提供する図書館
基本施策 ⑥	非来館型サービスの導入の検討
取組内容	新型コロナウイルス対策や、様々な事情から来館が困難な利用者に対応するため、来館せずに資料を入手できる非来館型サービスの検討をします。

### 1. 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
非来館型サービスとして電子書籍を導入します。	7月20日より電子書籍を導入しました。あわせて電子書籍案内を作成し、図書館、公民館窓口で配布しました。 タイトル数:2,127点 貸出件数:2,318件

### 2 該当する数値指標

該当なし

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
A	目標について、おおむね達成した。	電子図書館の周知と予算増の要求を進める。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
A	電子書籍の貸出数が少ないことから、広報だけではなく、ツイッター等様々な媒介を活用した周知を進めてもらいたい。



基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ①	子育て世代・乳幼児サービス
取組内容	【総合振興計画 未来像 1】の「まちぐるみで子育てに関わり応援できるまち」を実現するために、子育て関連図書や定番絵本などを重点的に収集し、親子で参加できる読み聞かせや関連事業の開催等を定期的実施することで、乳幼児と保護者が楽しく本や紙芝居、視聴覚資料等に触れあえる機会を創出します。

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
乳幼児からおはなしに親しむため保育園を訪問し、町内保育園おはなし会を開催します。	すぎと保育園、泉保育園にて37回、開催しました。
乳幼児～児童とその保護者に対しておはなしや本に親しむためのイベントを開催します。	下記のとおり開催しました。 小さい子のおはなし会 12回 図書館・公民館おはなし会 73回 0、1、2歳の絵本さがし 11回 ブックスタート事業 12回 ライブラリースタート事業 12回

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
乳幼児サービス事業実施回数	目標	154	154	154
	実数		157	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
A	目標並びに数値指標について、おおむね達成した。	次年度も継続する。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
A	各々の取り組みについて、今後も継続されたい。

基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ②	児童・YA(ヤングアダルト)サービス
取組内容	児童、生徒たちが積極的に読書をしたくなるような魅力的な資料の収集、読み聞かせなどの、読書への喚起となるイベントの実施などを行い、読書支援を行います。他に、図書館見学、職場体験やインターンシップなどを積極的に受け入れます。

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
児童、生徒にとって身近な図書館となるよう児童向け図書館イベントを開催します。	図書館お泊り会(7/24～7/25)、朝活図書館(7/26～7/29日)、試験勉強がんばらnight(6/25、11/26、2/18)、修読旅行(12/17～12/18)を開催しました。
児童向け広報「すぎともだより」を発行し、学校に配布し周知に努めます。	児童向け広報「すぎともだより」(年4回)を発行し、図書館、公民館、町内小学校に配布しました。
町内中学校の職場体験を積極的に受け入れ、図書館についての理解を深める活動を取り入れます。	インターンシップとして大学生1名の司書実習(8/16～8/31)の受け入れをしました。
町内小学校の児童に対し、ブックトークを実施します。	杉戸第二小学校の3年～6年生の児童に対し、4月にブックトークを実施しました。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
児童・YAサービス事業実施回数	目標	58	58	58
	実数		12	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
C	コロナ禍による対策からブックトークについては第二小のみの実施となり、数値指標を大幅に下回り達成できなかったため。	ブックトークについては各学校に引き続き働きかけていく。「すぎともだより」の発行回数の増を検討する。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
C	事業について、児童がメインでありYA(中～高校生)のイベントが少ないことから、「C」が妥当と考える。学校の図書室担当等と連携し、学校での事業の提案等を検討できないか。

基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ③	一般成人サービス
取組内容	様々な世代の成人向けにビジネス、就職、法律、福祉、などに関する日常に役立つ資料を中心に収集に努めます。

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
資料収集方針に従って、一般成人に役立つ資料を網羅的に収集し、令和4年度は就職についての資料収集を積極的に行います。	面接等に必要「キーワード・時事」「面接対策」系、個人事業等に必要法律「図解わかる」シリーズ等、就職活動中の学生に役立つ図書を30冊購入しました。
成人向けの図書館イベント等を開催します。	イベントについて、ワクチン接種会場となっていたため、サン・サンシネマ等一部成人サービスは中止となりました。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
一般成人サービス事業実施回数	目標	8	8	8
	実数		3	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	ワクチン接種会場となっていたためイベント等が開催できず、数値指標を達成できなかったため。	資料については引き続き収集し、成人向けイベントについては開催に向けて情報収集を行う。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	コロナ禍等の教訓を踏まえ、オンラインによる事業・講座について検討しておくべきではないか。

基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ④	高齢者サービス
取組内容	【総合振興計画 未来像 4】の「自らの健康を守りながら安心して暮らせるまち」を実現するために、高齢者に関心の高い健康に関する資料を重点的に収集し、生きがいにも繋がる各種事業を実施するとともに、図書ボランティア活動などの場を提供します。

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
関係課からの情報収集や意見を取り入れ、特集展示等を行います。	9月の特集展示として高齢介護課(地域包括センター)とコラボ展示「認知症特集」を行いました。
シニア向け書架の作成を検討します。	選書会議を経て、利用者の観点からシニア向け書架ではなく「高齢者に人気の本」等のシールを貼って対応することになりました。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
高齢者サービス事業実地回数	目標	2	2	2
	実数		1	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	開催場所の確保が困難であったことから、数値指標を達成できなかったため。	他市町村の高齢者事業について、情報収集を行う。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	各々の取り組みについて、課題解決に向け、今後も継続されたい。

基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ⑤	障がい者サービス
取組内容	<p>【総合振興計画 未来像 4】の自らの健康を守りながら安心して暮らせるまちを実現するために、障がい者の自立や社会参画、障がい者への差別解消や合理的な配慮、及び、読書バリアフリー法の趣旨が実現されるよう、周知し、活字による読書が困難な方に配慮した資料の収集、展示、機器の整備等に努めます。</p> <p>他に、音訳ボランティアなど障がい者サービスに関わるボランティアの活動を支援します。</p>

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
点字資料等の郵送に関して、郵便局より第四種郵便物の申請を行います。また、資料送付に関して、他市町村の事例について情報収集を行い、予算等の検討を行います。	点字資料等の郵送に関して、郵便局より第四種郵便物の申請中です。
大活字本、録音資料、読書が困難な方に配慮した資料の収集を行います。	購入した大活字本14冊(43,780円)、寄贈された点字資料17点を配架しました。
音訳ボランティアへ図書館内の朗読サービス室貸出を行います。	音訳ボランティアへ図書館内の録音室貸出を51回行いました。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
障がい者サービス事業実地回数	目標	1	1	1
	実数		0	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	杉戸郵便局へ第四種郵便物の申請が完了できなかったこと、開催場所の確保が困難であったことから数値指標が達成できなかったため。	第四種郵便物の申請を完了する。他市町村の障がい者サービスについての情報収集を行う。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	障害者福祉法の趣旨から、もう少し具体的に踏み込んで取り組んでもらいたい。

基本方針 2	利用者に応じたサービスを提供する図書館
基本施策 ⑥	多文化サービス
取組内容	【総合振興計画 未来像 8】の「信頼される行政運営を推進するまち」を実現するために、庁内関係課と連携しつつ、外国語資料や日本の文化や生活の理解に役立つ資料の収集や、関係事業の開催を検討します。

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
図書館紹介冊子を作成し、国際交流協会の協力のもと、英語をはじめとした多言語翻訳を検討します。	図書館案内の改正版作成(令和5年4月より配布)し、同時に埼玉県国際交流協会への翻訳見積もりをしました。
関係課から情報収集を行い、杉戸町に合わせた外国語資料の収集を行います。	外国語絵本6冊を購入しました。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
多文化サービス事業実地回数	目標	1	1	1
	実数		0	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	目標の外国語資料収集が微増であることと、数値指標が達成できなかったため。	図書館案内の翻訳予算化を進めていく。 関係課と調整し、情報収集を行う。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	英字新聞以外にも、英語の資料を多く入れるべきではないか。 日本語教室や杉戸町在住の海外の方等、当事者へのアンケート等で声を聴いてみたい。 教材の不足している日本語教室へ図書資料の提供はできないか。 関係課と協議してもらいたい。

基本方針3	みんなで作って育てる図書館
基本施策①	ボランティア・地域の人材・企業との連携
取組内容	<p>【総合振興計画 未来像8】の「信頼される行政運営を推進するまち」を実現するために、ボランティアの育成や技術向上となるような講座の開催などを行いつつ、新たな人材確保のために、活動に興味を持ってもらえるような機会をつくります。</p> <p>民間事業者や地域の人材と連携し、地域の生活課題に応じた講座やセミナーなどの企画事業を実施します。</p> <p>雑誌の配架数を増やすために雑誌スポンサー制度を活用し、利用者の利便性の向上に努めます。</p>

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
雑誌スポンサーについて制度を活用し、雑誌冊数の増加に努めます。	雑誌スポンサーは1件増となりました。
読み聞かせボランティアの増加と育成のため、熟練度に応じたボランティア講座を開催します。	「おはなし初心者講座(11/17、12/8、12/15)を開催し、4名が参加しました。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
図書館ボランティア満足度	目標	80%	80%	80%
	実数		80%	—
地域の人材を招いた講座の開催回数	目標	1	1	1
	実数		0	—
雑誌スポンサー新規契約件数	目標	1	1	1
	実数		1	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	地域の人材を招いての講座について、該当者との調整がつかなかったことから開催できなかったため。	地域の人材を活用した講座についての検討と、雑誌スポンサーの増、並びにボランティア講座の開催に努める。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	各々の取り組みについて、課題解決に向け、今後も継続されたい。

基本方針 3	みんなで作って育てる図書館
基本施策 ②	学校との連携
取組内容	【総合振興計画 未来像 2】の「子供たちに未来を拓く力を育むまち」を実現するため、積極的に学校との連携を図り、効果的な授業となるよう資料の提供だけでなく、学校に出向いて子どもたちが読書に興味、関心を高めるような活動を行います。

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
町内小学校の児童に対して、ブックトークを実施し、読書の推進に努めます。	杉戸第二小学校の3年～6年生の児童に対し、4月にブックトークを実施しました。
町内の新一年生に対して、図書セット(図書館利用カード、読書手帳、図書バック)を渡し、学校で図書館イベントを行うことによって図書館への理解と利用を促進します。	各校に対して、図書セット(図書館利用カード+読書手帳+図書バック)を渡し、学校で図書館イベントを開催し図書館への理解と利用を促進に努めました。
町内小中学校等に対して調べもの学習等に使用する資料のレファレンスと資料提供を行います。	調べもの学習等に使用する資料のレファレンスと資料提供を106回行いました。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
小中学校への団体貸出回数	目標	71	73	82
	実数		106	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
A	目標並びに数値指標について、おおむね達成した。	引き続き学校との連携を進めていく。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
A	子ども達にとって身近な図書室を図書館がバックアップやサポートをといあうような連携もありえるのではないかと。



基本方針 3	みんなで作くり育てる図書館
基本施策 ③	庁内各課との連携
取組内容	<p>庁内各課との連携により、発行している行政資料を網羅的、確実に収集すると共に、各課でPRしたい情報等で特集展示を行います。</p> <p>また、行政にも役立つ図書館をPRし、政策決定過程において必要とされる資料及び情報の整備、提供を行います。</p>

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
他課との依頼やカルスタで行うイベント等に合わせ、特集展示を行い、情報のPRに努めます。	<p>下記の展示を開催しました。</p> <p>8月 住民協働課「私たちの食と平和」</p> <p>9月 高齢介護課「認知症について知ろう」</p> <p>11月 人権男女共同参画推進課 「女性に対する暴力をなくす運動」</p> <p>3月 健康支援課「自殺対策強化月間」</p>
継続した行政、地域資料の受入、保管のため、年2回(5月と2月)行政各課・関係団体に依頼と確認を行います。	地域資料の受入・保管のため、2月に行政各課 関係団体に依頼と確認を行いました。
各課に対して、行政アカウントを作成し、業務に活用できる資料のレファレンスと提供を行います。	行政用アカウントの運用手順等について調整中です。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
各課連携テーマの展示回数	目標	4	4	4
	実数		4	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	数値指標は達成したが、行政アカウントの運用にまでは至らなかったため。	引き続き、各課に対しての行政アカウントの作成と周知に努める。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	各々の取り組みについて、課題解決に向け、今後も継続されたい。

基本方針 3	みんなで作って育てる図書館
基本施策 ④	職員の育成
取組内容	【総合振興計画 未来像 8】の「信頼される行政運営を推進するまち」を実現するために、職員の資質向上が必要不可欠です。そのために各種研修を積極的に受講し、職員のスキルアップに努めます。

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
図書館職員に対し、当人の業務の段階に応じた研修を受講させ、スキルアップに努めます。	職員のスキルアップとして以下の研修に参加しました。 埼玉県図書館新任職員研修(1名) 著作権研修(1名) 児童サービス研修(1名) 令和4年度関東 甲信越静地区図書館地区別研修(1名)
カウンター業務等社員のスキルアップにつながる研修等が開催されるよう委託業者と調整します。	委託業者の内部研修として図書館ボランティア講座(11月)、個人情報保護研修(11~12月)、人権研修(3月)に参加しました。

### 2 該当する数値指標

		基準値	R4	R8
職員の外部研修受講数	目標	4	4	4
	実数		4	—

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
A	目標並びに数値指標について、おおむね達成した。	図書館職員と委託職員に対し、当人の業務の段階に応じた研修を受講させ、スキルアップに努める。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
A	各々の取り組みについて、今後も継続されたい。

基本方針 3	みんなで作って育てる図書館
基本施策 ⑤	世代を超えた交流の場の形成
取組内容	【総合振興計画 未来像 3】の「生涯を通じて学び、郷土に愛着を持てるまち」を実現するために、様々な年齢や立場の方が図書館を訪れて、知識や経験を共有し、学び、交流し合える場としての機能を提供します。

### 1 令和4年度の具体的な目標と結果

目標	結果
「図書館まつり」において、幅広い年代が参加し、団体、参加者同士が交流できる開催に努めます。	第17回図書館まつり(3/5)を開催し、1,041人が参加しました。
図書館事業において、幅広い年代が参加できる講座等の検討をします。	講座については地域人材と読書会について、調整を進めています。

### 2 該当する数値指標

該当なし

### 3 評価

#### (1) 自己評価

評価	評価に対する理由	次年度の目標
B	講座について、講師との調整が不調となったため開催できなかったため。	講師との調整を進める。

#### (2) 外部評価

評価	評価に対する説明
B	各々の取り組みについて、課題解決に向け、今後も継続されたい。